

3 学期分東久留米市学校給食運営協議会について（報告）

開催日時	令和7年 1月24日（金）午後3時00分～午後4時00分
会場	東久留米市役所7階 701会議室
出席者	協議会委員：28名（欠席3名、付添参加1名） 事務局：教育部学務課
傍聴者	1名

【議事内容】

1 学校給食で用いられる食材について

- ・学校給食で用いられる食材について、スライド資料にて説明しました。

2（事務局より報告）あたたかい汁物つきスクールランチ テスト提供 アンケート結果まとめ

2学期に中学校各校で一度ずつテスト提供を行った際に実施した生徒向けアンケート結果を報告しました。

1. 「あたたかいスープがついたことで全体としてどう感じましたか」という設問に対して、「すごく良くなった」、「良くなった」合わせて81%にのぼる回答となり、個別容器が付くことでの献立の充実について、生徒のみなさんに喜んでいただけたと受け止めています。
2. 「あなたは普段からスクールランチを食べていますか」の設問で「食べていない、毎日弁当を持参している」と答えた生徒が23%であったのに対して、「今後は（今後も）スクールランチを食べたいと思いましたか」の設問で「家庭からのお弁当のみにしたい」と答えた生徒は8%であったため、個別容器が付くことでスクールランチを食べたいと思う生徒が増えるのではないかと考えています。

【質疑応答】

1. 学校給食費無償化に伴う食物アレルギー等の理由によりご家庭からのお弁当を持参する方への補助制度について

食物アレルギー等の理由により3学期にやむを得ず学校給食の提供を受けられない児童・生徒がお弁当等を持参し、在籍する市立学校において喫食する場合、その保護者の方に学校給食費相当額を補助する仕組みとしています。

他の多くの自治体においては、アレルギー等の理由により給食を食べることが出来ない児童・生

徒のうち、「毎日」お弁当を持参する場合のみを補助対象としており、本市においても、小学校はこれと同様の対応としています。一方、中学校は弁当併用型スクールランチ方式であることに鑑み、「毎日」お弁当を持参する場合に限定することなく、アレルギーを限定(小麦、卵、乳、えび、かに、ピーナッツ、くるみ、そば、大豆及びごま)するものの、生徒・保護者の選択を尊重した対応としています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

2. 物価高騰に伴う学校給食運営について

年度当初より、給食費単価の15%を物価高騰等対応学校給食食材費補助金として、学校給食を運営する各校へ交付しています。米価の高騰を受けて、3学期分に限り補助率を19%として対応しています。

3. (中学校)学校給食費の無償化に伴う返金について

学校給食費の無償化に伴う返金について、2月末を目途に返金できるよう調整をしているところです。具体的な日程等について、わかり次第、予約システムのお知らせ欄などを通じて周知する予定です。

3 学校給食についての懇談

小学校

(保護者委員)

最近の出来事です。1月22日はカレーの日ということを知りました。子どもの学校の献立はカレーではありませんでした。合わせてもらえたら嬉しかったです。

(保護者委員)

娘は2年生です。3学期になり、食べる量も前より増えてきました。給食では市内で採れた野菜を使用していると思いますが、残食量などはどうでしょうか。給食ではどのようなものの残食が多いのですか。

(栄養士委員)

3学期になり、年度当初から比べるとどのクラスも食べる量が増えてきました。給食では低学年・中学年・高学年で分けて栄養量の計算をしており、それに基づき配食量を決めています。本校で残食が多い献立は焼き魚や豆などです。

(保護者委員)

娘は3年生です。今年の夏休み明けから牛乳が突然飲めなくなりました。学校ではコップを持って行かせて少量飲んでいるそうです。急に飲めなくなり心配しています。

(栄養士委員)

牛乳について飲む量は個人差も多く、飲ませ方含め指導方法はさまざまです。給食で牛乳が提供される意味は、成長期に必要なカルシウムを豊富に含むためです。飲むので

あれば少量でも飲んでほしいですが、あまり無理強いはしないようにしています。カルシウム摂取量の問題だけではないと思いますが、最近では児童が転倒し手をついた際に骨折する例が多いようで養護教諭の間でも話題となっています。

(保護者委員)

人気メニューのレシピをいただき、家でも作ることができありがたいです。

(保護者委員)

先日学校の試食会に参加しました。栄養士の話では、朝食でパンを食べている児童がほとんどだと聞きました。夕飯が麺類となったらお米を食べる回数が減るため、給食は米飯が中心だとのこと。家でもお米を食べるようにと言われましたが、給食で提供する米飯の回数は決まっているのでしょうか。

(栄養士委員)

本市の学校給食では、米飯回数を週4回としています。ただ、暑く食が進まない時期は麺の回数を増やしたり、パンは人気メニューが多いこともありリクエスト献立の時期には様々な形で提供したりと細かい回数調整はしています。米は日本の農産物の一つであり、食料自給率の面等から食べる回数を減らさないようにしたいとの思いもあります。

(保護者委員)

子どもの学校では給食時間に栄養士から説明があり、とても興味深く聞いています。家庭でも給食の話題は絶えず、食べることは生きることにもつながるためとても感謝しています。

(保護者委員)

先日子どもが図書館で「がんばれ給食委員長」という本を借りてきました。残食に悩む給食委員とその子どもたちの取り組みがテーマの内容でした。特に牛乳の残食を減らす取り組みの一つとして、牛乳を中休みに飲んでいました。学校でも取り組んでみても良いのではと思いました。

(保護者委員)

以前に献立で予定されていた果物の提供がなかったことがありました。献立表には食材について変更がある場合もありますと記載されてはいますがなぜでしょうか。

(事務局)

例ですが、果物は生鮮物のため、「学校に届いてみたら品質が悪く使用を中止した」ということや、給食では取扱量が多いこともあり、「児童・生徒全員分の量が揃わない」等で納品業者からキャンセルの連絡が急に入ること等が主な理由です。

(保護者委員)

我が子は親校で、お友達が子校に通っていて、同じ給食を食べている話をして盛り上がっていました。調理員さんは短時間で大量の給食を作っており、感謝しています。

(保護者委員)

小学生と中学生の子どもがいます。小学校給食は食缶方式で温かい反面、スクールランチはおかずが冷ましてあるため冷たいですが、それにはきちんと理由があることも理解しています。来年度にはスープ付きランチも始まるので内容も良くなると思いました。

(保護者委員)

以前、懇談会場で他校の「おかわり優先権」発行の取り組みがあると聞きました。

(副座長)

給食委員会の児童が考えた取り組みのひとつです。

中学校

(保護者委員)

スープテストのまとめ・アンケート結果はどこに配付されていますか。

(事務局)

本日、本協議会委員の皆様配付させていただきました。今後、給食日より号外の形で各校に配付する予定です。

(保護者委員)

アンケートの間6に給食時間についてありますが、約6割が短いと感じていました。給食時間を長くすることはできませんか。

(事務局)

スープテストの際に各校の給食時間の様子を見て回りましたが、早々に食べ終わってしまつて時間を持て余している生徒も結構いるという印象を受けました。

給食時間の変更は学校の時程全体に影響しますが、学校の時程は各校ごとに決めています。時程を変更することに対して、学校の先生方、生徒たちの中にも様々な意見があると思いますので、先ずはこの結果を各校の校長と共有し、意見交換してまいります。

(保護者委員)

実際に給食時間はどのくらいなのでしょう。

(副校長委員)

給食時間は12:35～13:00で、その中で配膳から片付けまで行います。時間としては25分程度です。

(保護者委員)

学校給食費の無償化の中で、食物アレルギーの補助についてどのような内容なのか知りたいです。補助金の申請書は生徒全員に配布されたものなのでしょうか。

(事務局)

補助金の申請書は12月末頃に各学校に依頼し、全生徒に配布しています。配布の方法は特に指定しておりません。食物アレルギーの場合は食物アレルギー特定原材料8品目

に加え、大豆・ごまを補助対象とします。手続きには申請書に加え学校生活管理指導表の添付が必要となります。また、市ホームページにも申請書類等を掲載しております。

(保護者委員)

学校給食費の無償化は今後も継続の認識で良いのでしょうか。スクールランチは予約システムで先だって予約を行うため、予約したのちに無償化ではなくなったという通知が届く可能性もあるのでしょうか。

(副校長委員)

見通しとしてはどうなのでしょう。

(事務局)

本市が行う学校給食の無償化は、東京都等の動向を踏まえての実施となるため、4月以降については別途お知らせします。学校給食の無償化についての準備はしています。

(副校長委員)

学校給食費の無償化となると、A・Bメニューの選択がなくなってしまうのですか。

(事務局)

献立の一本化は、「あたたかい献立」の提供開始に伴うもので、学校給食費の無償化とは直接の関係はありません。

(保護者委員)

3学期から学校給食費の無償化が始まり、実際の喫食率はどのくらい変化がありましたか。調理場としては、問題なく提供できているのでしょうか。

(事務局)

喫食率については、60%前後から80%前後へと伸びています。

(調理業務受託業者委員)

食数が伸びている現状はありますが、市の栄養士と献立検討し、献立内容や調理について相談しながら対応できています。今後も事故等に注意して安全な給食を提供していきたいと思っています。

(事務局)

学校給食費の無償化を進める中でアレルギーの方への補助に関連し、アレルギーが無い場合は家庭からお弁当を持参してはいけないのかという問い合わせがありました。学校給食費の無償化、アレルギー等の補助制度開始後であっても、ご家庭でお弁当の持参を希望する場合にはご家庭からのお弁当を持参することもできます。

(保護者委員)

宗教等でも給食費の補助が受けられるとのことですが、申請にはどのような書類が必要ですか。また、宗教においては補助対象になるかをどのように判断するのでしょうか。

(保護者委員)

宗教等、思想がない場合でも申請書を提出したら補助対象になってしまうということは

ないのでしょうか。

(事務局)

宗教を理由に申請をする場合、その内容を記載していただきます。場合によっては、具体的な内容を詳しく聞き取りする必要があると考えています。補助金の適切な運用ができるよう都に確認をしながら進めていきたいと考えています。

(保護者委員)

現在では外国人の家庭も増えていると思いますが、外国人向けの資料や案内はありますか。コミュニケーションを取ることが困難な方は補助制度について認識していない可能性があるのではないのでしょうか。

(事務局)

現時点で外国人向けの資料は用意しておりません。

(副校長委員)

今後外国人の方は増えていくと思います。保護者や生徒の中にはタブレット等の翻訳機能を用いて学校のプリントを読み込んでいる方もいます。

(保護者委員)

スクールランチにおかわりご飯をつけてもらっていると聞きましたが、生徒それぞれに食べる量には多い少ないがあると思うのでご飯の小盛り・大盛りができると良いと思います。

(調理業務受託業者委員)

ご飯については機械で盛り付けを行い、それぞれの学校、クラス別でコンテナに入れて学校へ配送しているため、小盛り・大盛りを個別に行うとなると現実的に困難な状況です。

(保護者委員)

給食試食会が11月にあり、市の栄養士にも来ていただき調理場の様子などを説明していただきました。参加者はあたたかい汁物付きのスクールランチを試食し、おいしかったなどの感想があり、大変好評でした。他の学校でも実施しているのでしょうか。

(栄養士委員)

今後は1月下旬に2校、2月に3校実施します。